

受入団体名：京都府立堂本印象美術館

プロジェクト名：堂本印象美術館広報プロジェクト

募集人数

5名

<活動期間：2026年10月1日～2026年12月23日 活動日数：10日程度>

<活動パターン>

■不定期 ⇒ WEB上で随時活動を行います。  
実施内容や進捗により対面でも活動します。

<主な活動場所>

堂本印象美術館・立命館大学

<キャンパスからの交通手段>

徒歩

<活動の流れ>

日時	活動内容
10/14	特別展の内覧会に招待
10/15	開館60周年イベントに招待
10月中	既存のボランティアに参加しつつ広報企画を立案
11月中	新しい活用企画の実行と活用事例のコンテンツ化
12月中	活用事例コンテンツの公開と広報の実施
[参考] 10/15～ 12/20	特別展：モデルになったミューズたち

<活動に必要な費用>

なし

<参加の姿勢>

何が必要か考える「知恵」と  
ためらわず行動する「勇気」を持ち、  
企画の完遂に向けてチームに  
参加することを期待しています

<コミュニケーションの手段>

■電話 ■その他(Teams,slack等)

## <活動のテーマと主な内容>

# 美術館の楽しみ方を広報する

堂本印象美術館は、日本画家の堂本印象が創設した美術館です。

美術館というと「美術品を見る場所」というイメージを持たれがちですが、実はそれ以外の楽しみ方もあるかもしれません。そして新しい楽しみ方が広まれば、今まで美術館に来る機会のなかった人も足を運んでくれるかもしれないと考えています。

そこで今年の活動は、「美術館の楽しみ方を見つけ」、それを「広報」することに挑戦していただこうと思います。

今年のプロジェクトのミッションは下の2つです。

①堂本印象美術館の楽しみ方を見つけ実践すること

②その楽しみ方を形にまとめて広報すること。

参加される皆さんの知見、感性、想像力を形あるものとして残し、それが美術館を未来に残すための礎になることを期待しています。

## <活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

堂本印象美術館は立地こそ立命館大学衣笠キャンパスの向かいにありますが、来館者の内訳を見ると10代、20代の方の来館は全体の1割程度しかありません。また大学の授業などに参加しても、あるいは立命館大学のOBの方と話をしても「外から見たことはあるけれど入ったことがない」という方がたくさんいる状況です。

一方で美術館の中で作品を見るだけでなく、広場で休憩する人や、庭園で遊ぶ子どもたちも見かけます。この違いは何なのだろうといつも不思議に思っています。

そこでみなさんの視点から、美術館や文化芸術に対して抱いているイメージ、活動に参加しての感想、美術に触れるまでのハードルやネガティブに感じていることなどを伺いながら、堂本印象美術館のみならず文化芸術全般を未来に遺していくための知見やアイデアを得たいと考えています。

## <学生が期待できる学び>

現代における文化芸術を取り巻く社会環境を現場から見て学ぶことができます。

チームを運営してプロジェクトを推進するマネジメント力が養われます。

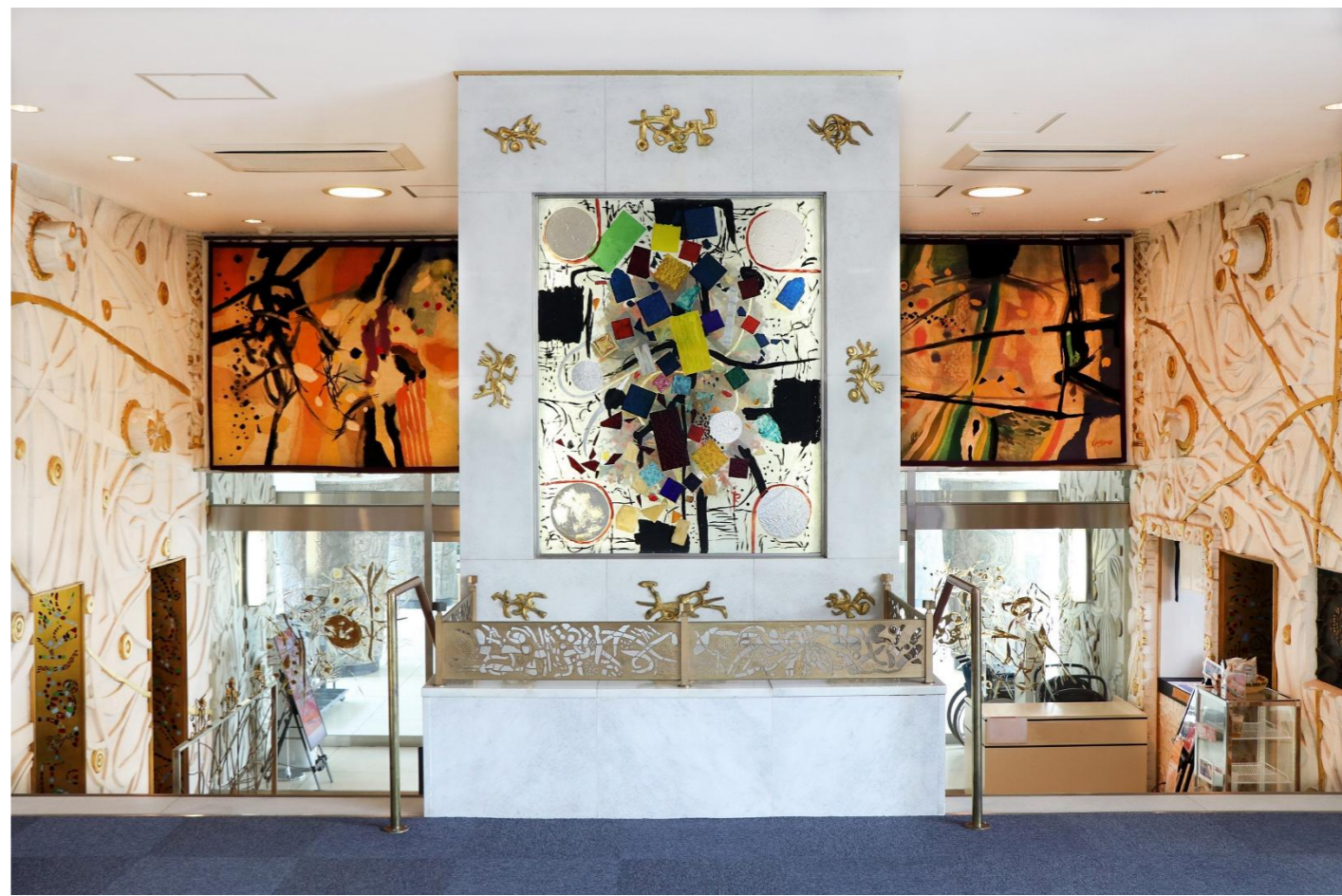
広報、マーケティングに関わる思考力、観察力、表現力が磨かれます。

企画の実施にあたりチーム内外や各ステークホルダーと折衝するためのコミュニケーション力が鍛えられます。

# 堂本印象と美術館のこれまで1/4

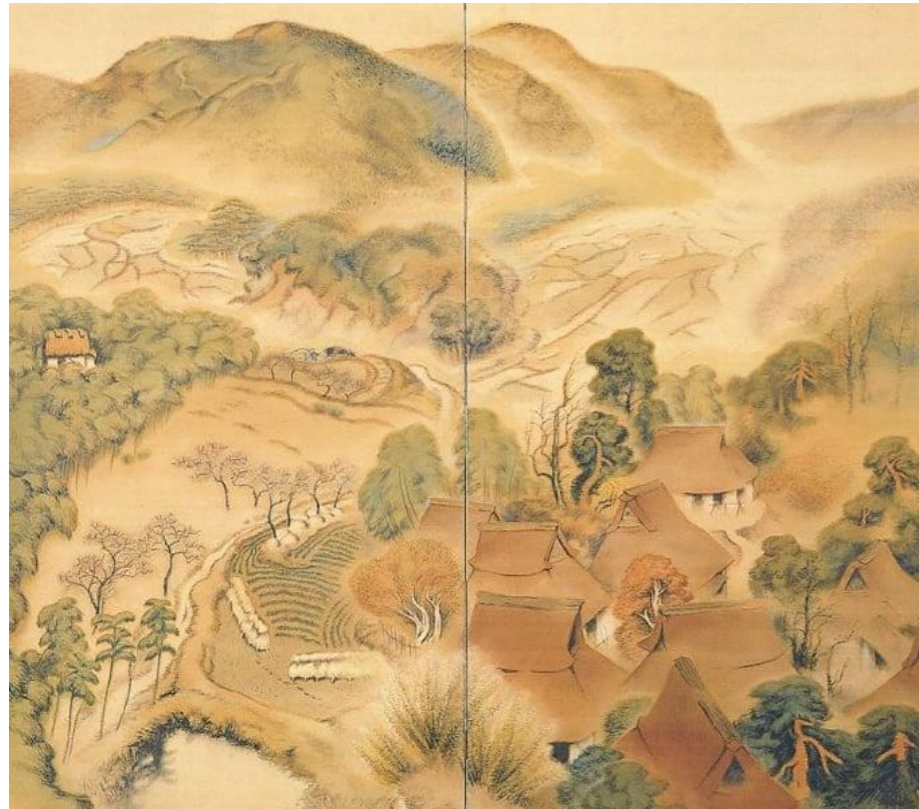


《美術館外観》



《美術館ロビー》

# 堂本印象と美術館のこれまで2/4



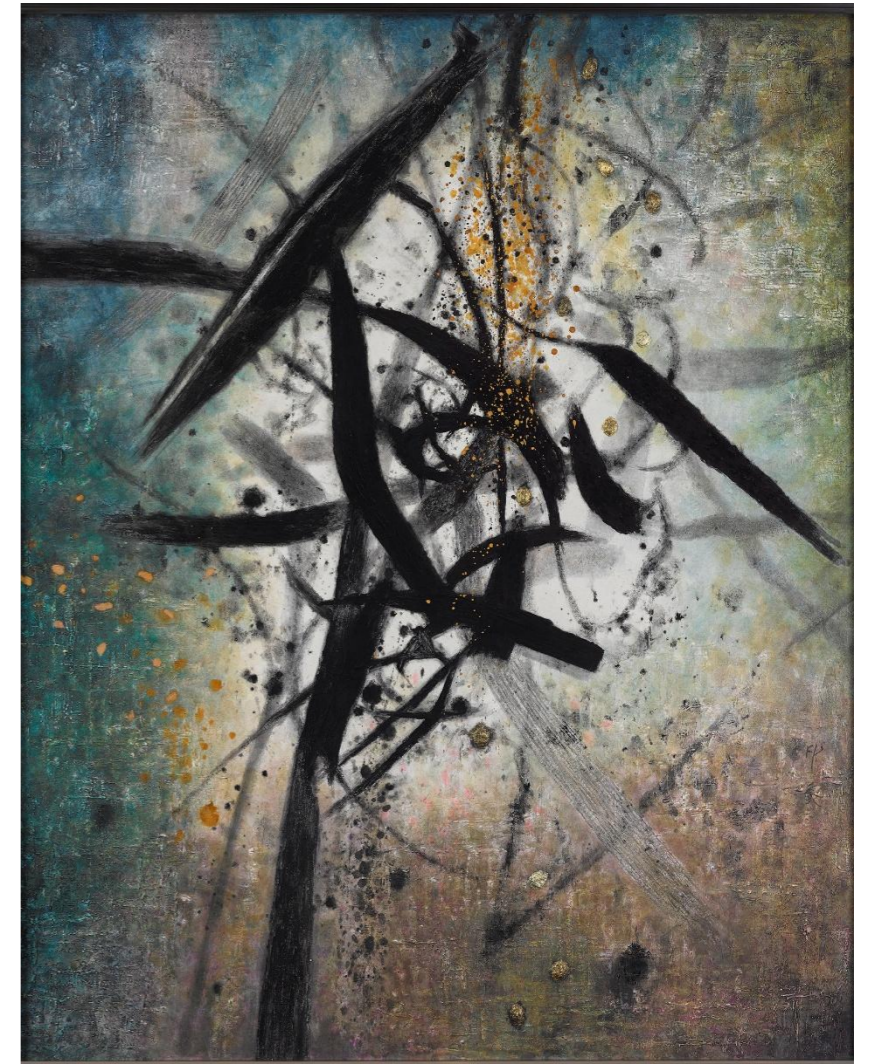
《深草》 1919年(28歳)



《木華開耶媛》 1929年(38歳)



《疑惑》 1954年(63歳)



《交響》 1961年 (70歳)

## 堂本印象と美術館のこれまで3/4

1891年	京都市上京区に生まれる
1910年 19歳	京都市立美術工芸学校卒業 図案家になる
1918年 27歳	京都市立絵画専門学校入学
1919年 28歳	第1回帝展に初入選
1952年 61歳	初めてのヨーロッパ
1961年 70歳	文化勲章受章
1966年 75歳	堂本美術館開館
1975年 83歳	逝去



## 堂本印象と美術館のこれまで4/4

1966年「**堂本美術館**」として開館

- 堂本印象が設立した美術館
- 建物からドアノブまですべてが堂本印象のデザイン
- 渡欧の際に目にした宮殿や芸術家個人の美術館を参考

1992年「**京都府立堂本印象美術館**」へ

- 作品、美術館、財産が京都府へ寄贈

2026年 開館してから60年が経過

- 公益財団法人京都文化財団が管理・運営
- 国の**登録有形文化財**となる
- クラウドファンディングで資金調達し、山のアトリエを復元



《開館当時の美術館》1966年

## 立命館と美術館との連携1/6



美術館広場にこたつスペースを設置

# 立命館と美術館との連携2/6



## 観光案内マップの制作と配布

## 立命館と美術館との連携3/6



美術館紹介動画  
日・英・中3か国語対応



堂本印象紹介動画  
落語研究会協力

## 立命館と美術館との連携4/6



美術館前のバス停への広告掲出

## 立命館と美術館との連携5/6



美術館・堂本印象作品をモチーフにした衣装製作  
美術館を舞台にした動画制作

# 立命館と美術館との連携6/6



**domoto\_insho**  
京都府立堂本印象美術館

**domoto\_insho** 堂本印象美術館限定で発売しているオリジナルマスキングテープ  
いずれも印象作品をモチーフにした柄で、お土産にもぴったり!!  
ぜひ堂本印象の世界観をお家でも楽しんでみてください😊

※本投稿は、立命館大学の授業「現代社会とボランティア」で学生と美術館の協働により作成しました。

Original masking tape which is sold exclusively at the Kyoto Prefectural INSHO-DOMOTO Museum of Fine Arts. It is a pattern with Insho's work

インサイトを見る

👍🗨️📌

🍓 strawberryfields\_kyotanabe、他24人が「いいね!」しました

8月27日

😊 コメントを追加... 投稿する

## SNS用記事の制作

← **堂本印象美術館**  
87件のツイート

色彩豊かな《豊雲(下絵)》はある場所の壁画下絵として描かれました。なんと壁画は幅11mを越える超大作!壁画が飾られていた場所はどこ?正解は明日!  
※本投稿は立命館大学の授業「現代社会とボランティア」で学生と美術館の協働により作成しました

国会議事堂	21.9%
<b>最高裁判所</b>	<b>37.5%</b>
ディズニーランド	9.4%
立命館大学	31.3%

32票・最終結果

🗨️ 1 🔄 4 🍷 8 📌 1

**堂本印象美術館** @DOMOTO\_Insho · 8月13日  
堂本印象 《豊雲(壁画下絵)》1973年 京都府立堂本印象美術館蔵  
※本作品は生誕130年 堂本印象展で展示中です



🗨️ 1 🔄 1 🍷 9 📌 1

**堂本印象美術館** @DOMOTO\_Insho · 8月14日  
正解は「最高裁判所」でした!  
制作について印象は、最高裁とはいえ会議室なので部屋の雰囲気をも明るくしようと色彩を豊かにしたと語っています。  
★《豊雲(最高裁判所大会議室壁画下絵)》は生誕130年 堂本印象展に出品中。ぜひご来場ください。

## シチズンシップ・スタディーズのこれまで

年度	企画概要	成果・実施事項
2025年度	来館者誘因企画の実施	衣笠祭典にあわせて美術館広場に「こたつ」を設置して通行人へのアピールを実施。
2024年度	観光案内マップの制作と配布	マップの制作と配布先の選定、設置交渉を行い、衣笠地域20カ所の店舗、寺社など20カ所に1000枚のマップを設置。
2023年度	プレゼント付 展覧会チラシの配布	展覧会チラシを学内で300部配布。
2022年度	SNS記事の制作と配信	Instagram・X用の記事(動画・ポスター等)を約20本制作、約7000のインプレッションを獲得。